

東京五輪へ瀬古氏「大号令」



東京五輪を見据えた戦いが浪速路から始まる。第36回大阪国際女子マラソン（産経新聞社、サンケイスポーツなど主催、日東電工協賛）は1月29日午後0時10分、大阪市東住吉区のヤンマースタジアム長居発着のコースで開催される。今大会は世界陸上（8月、ロンドン）の国内代表選手選考会を兼ねており、海外選手を含め19人の招待選手がエントリー。オリンピックの伊藤舞（大塚製薬）や重友梨佐（天満屋）らベテラン勢に、成長著しい竹中理沙（資生堂）、加藤岬（九電）ら新鋭が挑む。

陸連の強化作戦スタート



堀江美里



シタヤ・ハブテゲブレル



重友梨佐



加藤岬



吉田香織



竹中理沙

日本陸連は昨年11月、東京五輪に向けて新たな強化戦略プロジェクト組織づくりに着手し、往リターに抜擢。瀬古リイは早速、新たな強化ネガティブスプリットに

正午から
生中継
8
カンテレ

JR大阪駅からすぐ！
うめきたガーデン
うめきたガーデン

チューリップ祭
2月10日金スタート!!

◆入場料 一般(大学生以上) 1,000円
小・中・高生 500円(いずれも税込)
◆開場時間 10:00~17:00(入場は開場30分前まで)
◆会場 うめきたガーデン(うめきた2期暫定利用区域)

駆け引き重視「後半勝負」



大阪国際に向け、調整を続ける伊藤

メーカーは、前大会より緩やかなラップで中間点まで引っ張る。当然、後半での駆け引きがカギとなる。瀬古リイターはペースを上げたり下げたりするなか、自分でレースメイクができれば世界の舞台では勝てない。そのためには男子の川内優輝（埼玉県庁）のようにハードな練習を積みことも必要」と話す。

新旧のエリートランナーが勢ぞろいした大阪国際女子マラソン。世界に羽ばたくのは誰だ。

伊藤舞（いとう・まい）1984年（昭和59）年5月23日生まれ、32歳。奈良出身。京都府立から陸上を始める。京産大4年の2006年に日本学生1万円で優勝。卒業後は、デンソーに入社し、09年大塚製薬に移籍。10年名古屋国際で初マラソン。15年世界選手権北京大会で7位入賞。16年リオデジャネイロ五輪では46位。マラソンの自己ベストは2時間24分42秒。1.56m、41kg。

伊藤に挑む新鋭
展望2面